

三心を磨く

学校だより No. 7

令和3年9月30日(木)発行

須坂市立東中学校

文責：嶋田 和美 (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

「東祭」 ～第44回東祭の様子から～

9月24日(金)・25日(土)の二日間、「第44回 東祭」が行われました。本年度は、夏休み明けに、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、長野圏域が「感染レベル4」に上がり、昨年以上に、苦労しながら準備を進めてきました。

二日間、感染症対策のため、制限がある中でしたが、東祭テーマ「Be the best」のもと、充実した東祭となりました。

本年度も原則非公開とし、保護者、地域の皆様の来校をご遠慮いただき、大変失礼いたしました。

当日の様子は、Goolight(須高ケーブルテレビ)の放映にてご覧いただけたいと思います。放映時間が限られていますので、全ての内容をお伝えできませんが、3年生を中心とした生徒の活躍をご視聴いただけたと思います。



開祭式～学校長挨拶



本来なら、多くの保護者・地域の皆さんを招待して、コロナ禍を乗り越えて輝く皆さんの姿を公開したいところでしたが、今年度も原則非公開となりました。

しかし、そのような状況の中、土屋保男教育委員長様、泉PTA会長様をはじめとする三役の皆様におかれましては、ご多忙中ご臨席いただきまして、誠にありがとうございます。どうかお時間の許す限り生徒達の輝く姿をご覧ください。

いよいよ第44回東祭の幕開けです。今日を迎えるまでの間、プランが変更され、だだでさえ短い活動時間が断続的に中止になるなど、本当に苦労の連続だったと思います。1学期終業式、2学期始業式でも全校で校歌を歌うことが出来ず、「小さな学校の大きな合唱」を創り上げることもままならない状況でした。

しかし、その一方で、自分たちの活動をSDGsの視点から見直し、新たな活動が展開されてきました。全校でSDGsを学んだ生徒集会、古紙を再利用したごみ拾い登校。夏休み中には生徒会課題のSDGsカルタづくりにも取り組みました。

これらの取り組みは、校内、地域にとどまらない広い視野を皆さんにもたらししていると確信しています。

さて、今年度の東祭のテーマは「Be the best」です。最高のものになれという意味がある一方で、最善を尽くすという意味もあります。1人1人が、学級・学年・チーム・全校の一員として最善を尽くしたときに、最高のものになることができるのだと思います。

また、この二日間は、一昨日の各学級代表が発表した決意の中で語られていた「生徒会引継」に向かう場でもあります。思いをかけてこの二日間を過ごす中で、3年生は何を残せるか、2年生は何を受け取るか、心を働かせましょう。1年生は正真正銘、初めての東祭です。楽しむことはもちろん、2・3年生の姿から何かを学び取って欲しいと思います。

最後に、皆さんが主体的に取り組んで今日を迎えたこと、そのことに大きな価値があります。そして、それぞれの発表・表現は、その瞬間に消えていくものです。同じ空間で、互いに創り上げた空気を共有することで体感する感動は、心に刻むことでしか残すことはできません。皆さんと共にその感動を味わいたいと思います。

終わります。



開祭式～生徒会長挨拶



今日から 2 日間の東祭が始まろうとしています。皆さんは東祭にどのようなイメージをもっていますか。1 年生の皆さんは、初めての東祭なので難しいと思いますが、2 年生、3 年生はどうですか？僕にとっての東祭は生徒会活動の集大成だと思っています。

今日を迎えるまでには色々なことがありました。「今年こそ、！」そう自分は願っていました。

それは、去年の東祭が、コロナの影響で例年のようにできなかった経験があるからです。一つ上の先輩たちは、悔しい思いが少なからずあったと思います。今、最高学年の立場になってみて、あのときの先輩の気持ちが分かります。

ですが、どのような環境でも、自分たちにできる最大の東祭を目指して努力したり準備したりすることが大事だと今は思います。今年は準備も遅れてしまい、全校の皆さんも不安や焦りもあったと思います。自分も例年と比べてしまい、熱意が足りてないのではないかと心配した時もありました。それは皆さんも同じだったのではないのでしょうか。コロナ禍での歌練習で果たして声を出していいのだろうか、どう応援すればいいのだろうかと考えた人は少なからずいると思います。そのような中でも、東祭が近づくにつれて、東祭に向かう熱意が高まってきたと感じます。そして、その熱意こそ、東祭を迎える上で大切なことではないかと思っています。

今年の東祭テーマ「Be the best」は最高のものとなれという意味を持っています。このテーマの下で準備を進めてきましたが、僕は声を出すことがゴールとは思っていません。声を出すことも大切ですがそれ以上に、一人一人にとっての最高の東祭にしてほしいと思っています。

合唱練習や君スタや歌練習、学級旗制作にチャレランの練習。今まで様々な準備を乗り越え、いま、この時を迎えています。この二日間は、一人一人がそれぞれにとっての最高の東祭と感じられるように頑張らしましょう。



☆ 二日間の様子から



『意見発表（国語・英語）』『総合的な学習の時間の発表』 日頃の学習の成果が見られました。



『君こそスターだ！』 ダンスや寸劇など有志や学級で頑張りました。



『吹奏楽部発表』 3年生の最後のステージになりました。アンコールの「sing sing sing」まで、飽きることのない楽しい演奏会となりました。



『チャレンジランキング』 学年の枠をこえて、力を合わせ、改新（快進）撃！



『音楽会』 今年も素敵な「小さな学校の大きな合唱」を聞かせてもらいました。



『Nagano SDGs projectの方をお招きして』

『表彰式』

閉祭式～生徒会長の話



東祭がもうすぐ終わろうとしています。一人ひとりにとっての最高の東祭になったでしょうか。

東祭テーマ「Be the best」を掲げ、これまで回収活動、テーマソング練習やポスター制作に学級旗作成にモザイク壁画など…今年はなかなか準備の期間も取れず、大変でしたが、この二日間は皆さんの取り組みの成果がすべて発揮された、とても素晴らしい東祭になったと思います。この二日間を振り返ってみましょう。

まず1日目です。意見発表会では自分の意見を堂々と発表してくれた発表者の皆さん、総合的な学習の時間の発表では、自分たちが学んできたことやそれを通してどんなことが得られたのか教えてくださいました1～3年生の皆さん、そして君スタでの三チームの発表はどれも光り輝いており、またそれを見る皆さんの目もとても光り輝いていました。そして吹奏楽部の発表も練習時間が例年に比べて少なかったにもかかわらずとても高い完成度で素晴らしかったです。

なんといってもチャレンジランキングです。綱引きは女子男子ともとても接戦でいい勝負でした。大

縄跳びではどのクラス、チームも勝とう！という気持ちが見え、最後まで残ったチームを応援するという姿も見えました。そして全校リレーは順位の入れ替わりが激しく縦のつながりが1番見えた気がしました。今年はほぼマスクをしてのチャレンジランキングとなりましたが、マスクをしていても壁がないように見え、とてもいい雰囲気で1日目を終えられたと思います。

また、今日の音楽会ではそれぞれの学年の個性があるいい歌声を響かせてくれました。そして校歌や大地讃頌の斉唱や全校合唱では例年通り小さな学校の大きな合唱を響かせてくれました。

生徒会企画では、SDGsの活動が県内に少しずつ広がってきたことを知りました。その一部に東中学校もあります。僕たちが生きていく未来をよりよいものにするのは、僕たち自身です。これからも、自分たちにできる活動が続けていきましょう。また、全校の回収活動で得た資金をNagano SDGs projectに寄付させていただきました。県内に配られるパンフレットには東中の活動も紹介してくれるそうです。東中から少しでもSDGsの目標に近づいたのではないかと思います。

東祭の成功に向けて動いてくれた全校の皆さん、本当にありがとうございました。またその中でも中心的に動いてくれた3年生の皆、ありがとう。そして僕たちの活動を支えてくれた先生方、本当にありがとうございました。

まだ、今年の生徒会活動はまだ終わっていません。この東祭を忘れず、これからも生徒会活動に励んでいきましょう。



二日間を終えて～生徒の感想から

合唱を1番に力を入れて練習したと思う。その練習してきた成果を出せて自分の1番の全力で歌えてよかった。2年生と3年生の合唱もとてもきれいで見習っていきたくと思った。閉祭式では、最後のテーマソングで3年生がすごく盛り上げてくれて自分も精いっぱい声を出して楽しんだ。もう本当にこれで終わってしまうんだと思うと悲しくなるけど、来年も全力で楽しくやっていきたくと思った。この2日間で目標の「Be the best」を達成できたと思う。本当に楽しかった。

金、土に待ちに待った東祭をやりました。学習発表では、みんなで納得できるいい発表ができ、君スタでは3年生の表現力、1年生のダンスがすごかったです。吹奏楽の演奏では、名曲をきれいに演奏していて努力が伝わってきました。チャレランでも、大縄で最高記録を出せたので楽しかったです。東祭はコロナのことを忘れて、楽しめたので良かったです。

音楽会では本当は各クラスに分かれて歌いたかったと思いますが、各学年の歌声がとても響いてきました。思い通りにいかず、とても苦しかったり、悔しかったり、ということが多かったです。しかし、それ以上に、今できることを精一杯やろうという気持ちが各学年から伝わってきました。一人一人が今まで以上の力を出せたと思います。東祭が無事に行えて良かったなあと感じる2日間でした。

この2日間を通して「Be the best」は達成できたと思います。クラス、縦割り、全校で協力して活動ができたからこそこの「東祭」でした。

そして、生徒会の引き継ぎに向けた東祭でもあったので、いろんな3年生の姿を目に焼き付けました。例えば、チャレランで積極的に声がけをしてくれたり、音楽会では、素晴らしい歌声を聞かせてくれたりしました。来年は私たちが3年生のような姿になって、後輩が今年の私たちのように思ってもらえる東祭を創り、運営していきたいです。最高の東祭でした。

最後の東祭、「Be the best」を達成できたと思いました。今までの年より準備の時間が少ない中、歌練習が中止になったり、部活動ができなくなったり…と、本当に東祭を最高のものにできるかな？と思ったこともあったけど、みんなと協力して、3年間で最高の東祭になりました！1、2年生の頃は「参加して楽しむ」感じだったけど、3年生になって「運営して楽しむ」ことができました。自分達で一生懸命準備してきたからこそ、今までよりも成功したときの喜びが大きかったのではないかなと思います。2日間、本当に楽しかったです。

コロナでやれることは減ったし、コロナがなかったらもっと楽しかったと思うが、コロナがあったからこそ、仲間との協力に感謝することができた。自分は知っている曲が流れた時に心がはね上がるタイプの人なので、一日目の最初、幕が上がり音楽とともに美術部の絵とステージバックが出てきた時、一番テンションが上がった。正直なことを言うと、こういうことは嫌いだし、ずっと早く帰りたかったし、苦手意識があった。だけど、3役が最後に手を上げ、終わりの言葉を告げた時、涙がこぼれそうになった。